

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第2学年 「図画工作（開隆堂）」

49時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1 2	A表現 (1)イ(2)イ	すきなことなにあに	表したい場面を思い浮かべながら、クレヨンやカラーペンなどを用いて、表し方を考えて絵に表す。	4	・作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。
	B鑑賞	4時間			
	(1)ア	えのぐじま	「えのぐじま」や「にじのふるさと」などの言葉から思いついた形や色でぬって(ペインティング)表す。	4	・作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。
3	絵 【選択】	どうぶつさんと いっしょに	学校や家庭などで動物と遊んだことをいろいろ思い出しながら、好きな動物と自分との関わり合いを周囲の情景も含めて表す。	4	・作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。
	A表現 (1)ア(2)ア	「土」って 気持ちがいい	手や素足で土や砂を使って、山にしたり、トンネルをほったり、水を加えて泥にしたりして、土や砂の触り心地を体全体を使って楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
	B鑑賞 (1)ア 造形遊び 【選択】	にじいろコレクション	水に絵の具やインクを混ぜて色水をつくり、透明の容器に移して色を比べたり、光にかざして見たりする。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
4 5	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 工作	くっつき マスコット	磁石の特性を生かしながら、紙粘土で好きな形をつくり、遊べるものや飾れるものをつくる。	5	・速乾性の紙粘土を使用し、時間削減できるよう配慮する。
6 7	A表現 (1)イ(2)イ	つづきえ どんどん	好きなものなどをもとに1枚目の絵をかき、次に、初めにかいた絵をもとにお話を考えながら2枚目、3枚目と続きの絵をかいていく。	4	
	B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	形の「かくれんぼ」	画用紙を複数のパーツに自由に切る。切り取った不定形から思いついたものをかき加え、かいたものを再びバズルのように組み合わせで鑑賞する。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
8 9	A表現 (1)イ(2)イ	ギュッとしたいわたしの「お友だち」	クラフト紙を手でもんで柔らかくし、二つに折って、動物などの自分の好きな形をかいてはさみで2枚重ねて切り取る。次に木工用接着剤で袋のように貼り、中にもんで丸めた新聞紙を詰めて形をつくる。	5	
	B鑑賞 (1)ア B鑑賞 立体 【選択】	ひみつの グアナコ	土粘土(油粘土)の感触を味わいながら、「グアナコ」という言葉からイメージを広げ、自分の考えた生き物や動物を想像してつくる。	5	・土粘土が用意できない場合は、児童個人の油粘土を使用する。
10 11	A表現 (1)イ(2)イ	ほかしあそびで	クレヨンやコンテ、パスなどの描画材を用いたほかし遊びから模様づくりを楽しむ、できた模様からイメージをふくらませて、思いついたことをかき足し、絵に表す。	5	・様々な描画材を試しながら絵に表せるようにする。 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	キラキラシャボンで	石鹸水と絵の具で色シャボン水をつくり、長くつないだストローで吹いて泡立たせ、容器の上に出てきた泡の形を画用紙に写してできる模様づくりを楽しむ。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
12	A表現 (1)ア(2)ア	切って、ひねって、つなげると	牛乳パックや紙コップなどを切り開いて、ひねったり、ホチキスでつなげたりして、形を変化させていく楽しさを味わう。	2	
	B鑑賞 (1)ア 造形遊び 【選択】	ちきゅうからの おくりもので	落ち葉や小枝、木の実などの自然材料の形や色のおもしろさを見つけながら、造形的な活動をする。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。

13 14	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	コロコロ大さくせん！	転がすボディ部分と転がるエンジン部分の組み合わせを考 えて、転がると楽しいおもちゃをつくる。	4	家庭 ・作品の着色には、油性ペンを使用したり、色紙を貼ったり することで、絵の具を乾燥させる時間を削減する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭で の課題とし、「表す」活動の前に確認する。
		かぶって へんしん	かぶって楽しむお面や帽子などを、お花紙を使った張り子 でつくって楽しむ。	4	
		どきどきカード	生活の中で楽しかった出来事、うれしかったことなどを カードにして表す。	4	
15 16 17	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 絵	うつして 見つけて	ローラーや版を使って版遊びを十分に楽しみ、写すことを 試したりしながら発想を広げて型紙版画(ステンシル)に表 す。	6	家庭 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配 慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭で の課題とし、「表す」活動の前に確認する。
18 19	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 工作	カッターナイフタワー	カッターナイフで紙を切る技能を正しく身につけ、窓の切 り抜き方や模様切り抜き方、紙の折り方などを試しなが ら立体的なタワーをつくる。	6	
20 21	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 工作 【選択】	あつめて、ならべて、いいかんじ ピコリン星 ゆめの ステージ	いろいろな形や色の落ち葉を集め、材料の形や色、大きさ などを考えて、並べる、重ねる、組み合わせるなど造形的 な工夫をして、貼り絵に表す。 これまでに経験してきた表現を生かしピコリン星に住む人 たちをつくる。	6 6	

※時間数の精選方法(例)

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、絵の題材として、「すきなことなあに」「えのぐじま」「どうぶつさんといっしょに」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で言うことが考えられる。

○振り返り(製作した作品の鑑賞等)の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。(提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。